

第111回役員会・第47回経営審議会 議事要録

日 時：2019年3月20日(水)14：00～
会 場：大学本館 E-701 会議室
出席者：津田理事長、松尾副理事長、清田理事、片山理事、柳井理事、梶原理事、田上理事
井上委員、今川委員、柏原委員、小林委員、松永委員
(オブザーバー) 中野監事、福田監事、二宮副学長、中尾副学長

議 案

- 1 平成31年度計画案について
- 2 平成31年度予算案について
- 3 内部質保証推進室の設置について
- 4 法学研究科及び社会システム研究科の入学定員変更等に伴う大学院学則の改正について
- 5 今後のグローバル人材育成について

報 告

- 1 2019・2020年度役員等の構成について
- 2 2019年度一般選抜入学試験実施状況について
- 3 2018年度卒業予定者の就職内定状況について

議案 1 平成31年度計画案について

<質疑応答>

[委員] 学生支援について、障害者等に適切な配慮という表現は差別感があるため、表現をもう少し工夫した方が良いのではないかと。

[副理事長] 表現については、検討したいと思う。具体的にどのように変えたほうが良いだろうか。

[委員] 例えば、適切な配慮を行うというのは大学側からの視点であり、当事者からすると差別的に感じるだろう。学生の側に立った表現に変えたほうが良いと思う。

[委員] 社会人教育について、大学のビジネスにつながる要素が少ないと思う。AI などの技術により、これから10年、15年の間に半分ぐらいの仕事が入れ替わると言われている。これは、大学としてのビジネスチャンスだと思うが、それとは無関係に思う。

[副学長] そちらは2番目の項目の enPiT-Pro の方だと思う。

[委員] enPiT-Pro については、私共もお手伝いをしているところであるが、昨年度のトライアルは人が集まったが、今年度は受講者の集まりがよくない。北方の本部から大きなサポートをしてもらえるようお願いしたい。

[副理事長] 人数が集まっていないことについては承知しており、今後については再度確認し、検討したいと思っている。社会人教育全体に対する大きな捉え方として、市の作った中期目標でもアクティブシニアを交えての社会人教育をという大きな目標があったので、それに応じた形である。そのため、ビジネスというよりもシニアの方の教育の部分を作るためにニーズ調査等を行ってこの形にしている。これがビジネスになるかというのは少し考えないといけない部分であるが、まずはスタートしてみて今後の展開を見ながら考えていきたいと思っている。

[委員] 入学者選抜の改善に関する事項で、個別選抜の見直しで2021年度入試の変更に向けて具体的にとあるが、ご存知のことだが、大きな変更事項や受験生に不利益になるような変更事項は2年前に告知するというルールがあって、大きな変更と具体的な変更と2段階あると思うが、今年度中に行っておくべき大きな告知というものは、何か済ませているのか。

[副理事長] 英語認定試験については、活用する方向で方針を出している。

【議長】 提案のとおり承認してよろしいか。

【委員】 異議なし

議案2 平成31年度予算案について

<質疑応答>

[委員] 目的積立金の取り崩した、特定目的というのは何か。

[理事] 予算編成の際、どの事業に充当するかを決めてから取り崩している。

[理事] 健康増進法が改正されることに関する人件費等は、予算に含まれているのか。

[理事] 教職員のワークライフバランス等に配慮した業務体系、残業時間の抑制等を踏まえた予算編成を行っている。

【議長】 提案のとおり承認してよろしいか。

【委員】 異議なし

議案3 内部質保証推進室の設置について

<質疑応答>

[委員] 大学基準協会と日本高等教育評価機構の両方の委員をしているが、大学基準協会は今回かなり評価の視点が厳しいという認識を持っており、とてもいい取り組みだと思う。内部質保証の概念図の中に教育アセスメント委員会というのが出てくるが、第7条の教育アセスメント部会とどう異なるのか。

[副理事長] 学位プログラムごとに検討するため、教育アセスメント部会として規定したもの。

[理事] 内部質保証を行った結果をどのようにして公開を考えているのか。

[副理事長] 内部的には、学位プログラムごとに計画書や評価書は見るができる。外部に関しては、法人評価や認証評価の結果としてウェブサイト公表されることになる。

【議長】 提案のとおり承認してよろしいか。

【委員】 異議なし

議案4 法学研究科及び社会システム研究科の入学定員変更等に伴う大学院学則の改正について

<質疑応答>

[委員] 大学院の定員充足率について懸案事項だったものを調整されたと思うが、今後維持していくために長期的な視点での努力や目標というものはあるか。

[理事] 学部推薦制度の実施や早期卒業制度と絡めた一貫教育の実施、広報活動の充実や外国人留学生向けの夏季入試を実施といった努力を継続していく。次年度以降は、i-Design コミュニティカレッジとの連携を考えながら、入学者を増やしていければと考えている。

【議長】 提案のとおり承認してよろしいか。

【委員】 異議なし

議案5 今後のグローバル人材育成について

<質疑応答>なし

【議長】 提案のとおり承認してよろしいか。

【委員】 異議なし

報告1 2019・2020年度役員等の構成について

<質疑応答>なし

報告2 2019年度一般選抜入学試験実施状況について

<質疑応答>なし

報告3 2018年度卒業予定者の就職内定状況について

<質疑応答>なし